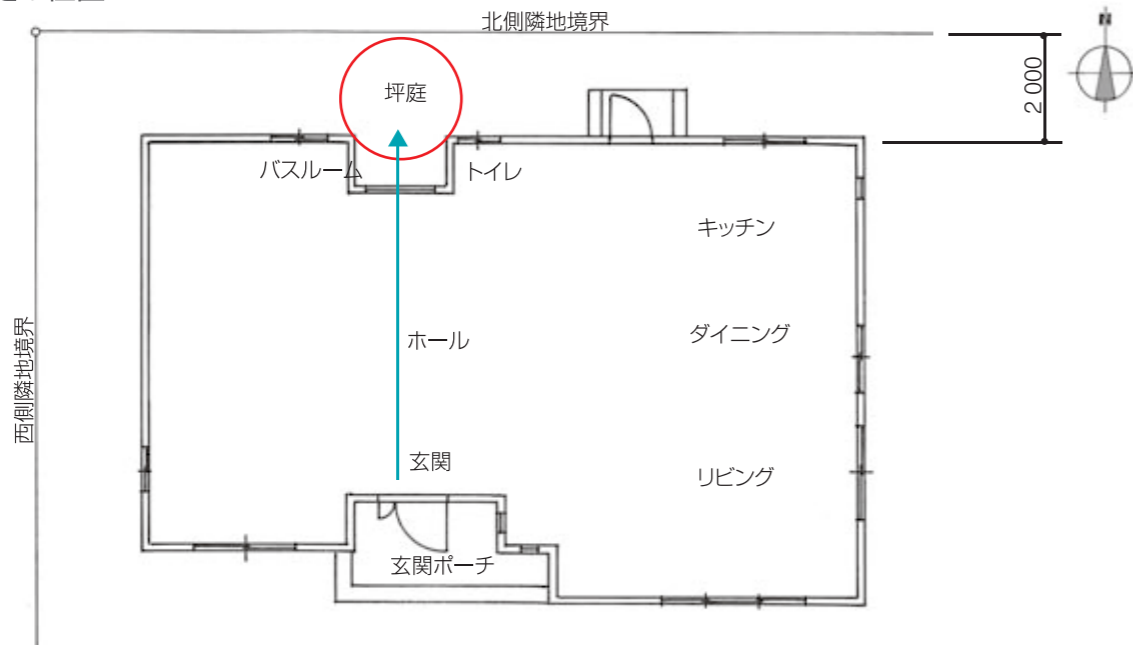


第9回目の課題について

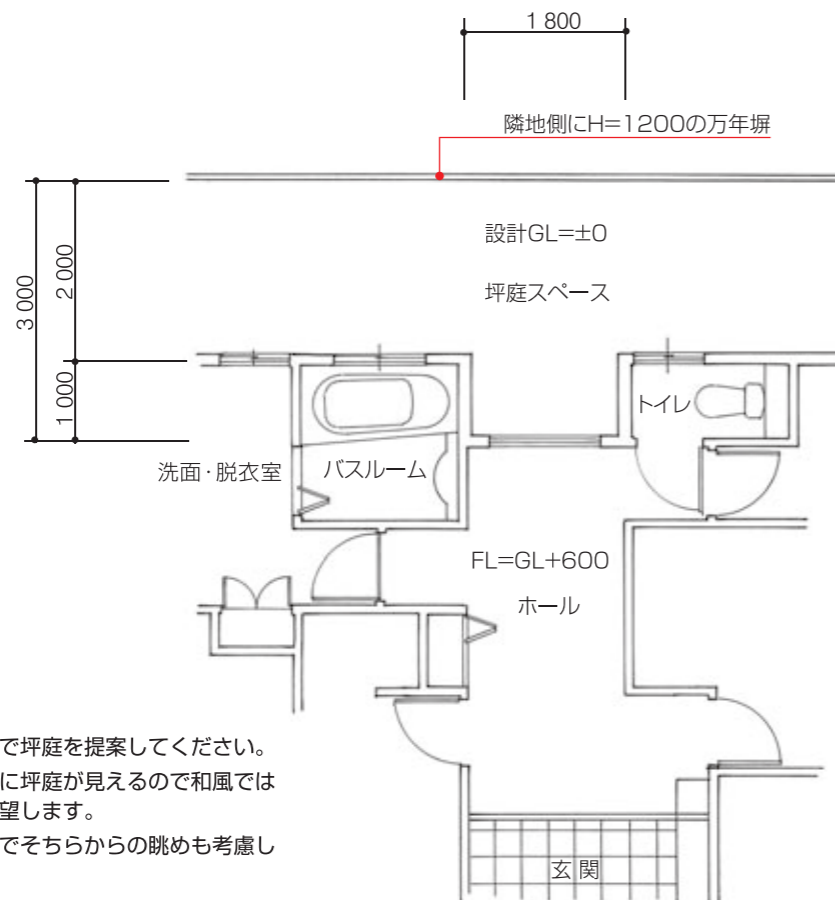
それでは今回の新しい課題をご覧ください。
今回は北側にある坪庭のデザインを考えていただきます。建物に対する坪庭の位置関係は下記の通りで、間取りの詳細も併せてご覧ください。

下記の施主の要望を踏まえて、平面図やイメージパース図などを作成し、次号の模範プランと比較できるように準備しておいてください。

■ 坪庭の位置



■ 間取りとの関係



■ 施主の要望

- 北側にスペースがあるので坪庭を提案してください。
- 玄関から玄関ホール越しに坪庭が見えるので和風ではなく洋風のデザインを希望します。
- 隣にバスルームがあるのでそちらからの眺めも考慮してください。

「私ならこう考える！ゾーニング手順と計画時のポイント」

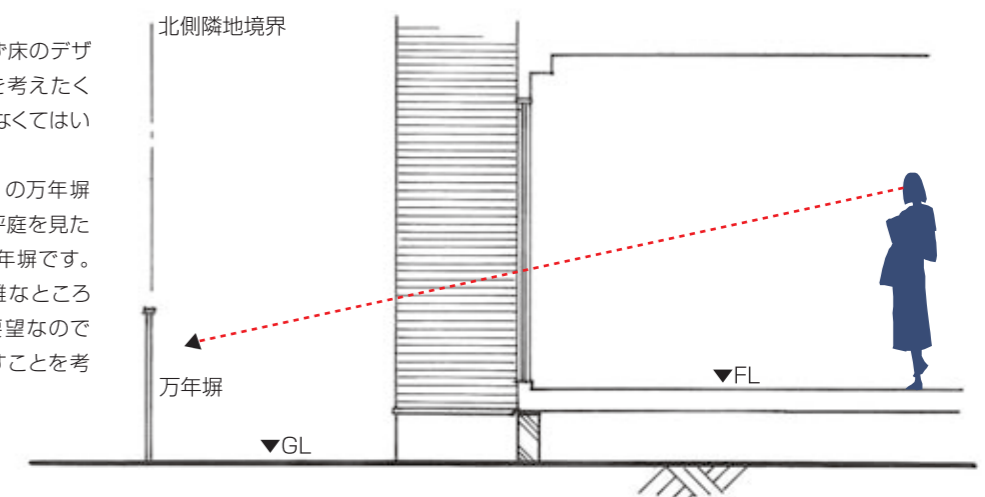
今回も私がプランニングする際に、どのような事を考えているのかその一部をご紹介します。プランニングの参考にしてみてください。

前回は南側の主庭(メインガーデン)のデザインを考えていただきましたがいかがだったでしょうか？模範プランではリビング前のウッドデッキ、そこから降りるステップ。降りたところには自然石のテラスがあり、テーブルやイスなどガーデンファニチャーも提案すると良いかもしれません。和室からは濡れ縁、沓脱ぎ石、飛び石などを經由して庭へと出て行けます。これらの主庭と、今回の課題である坪庭のプランは同じ考え方で良いのでしょうか？

答えはNOです。主庭はそこへ出て楽しむ事も考慮してプランニングしなくてははいけません。坪庭はあくまで室内からの眺めを優先して考えることが基本です。したがって次のようなことを考えながらプランを立てることをお勧めします。

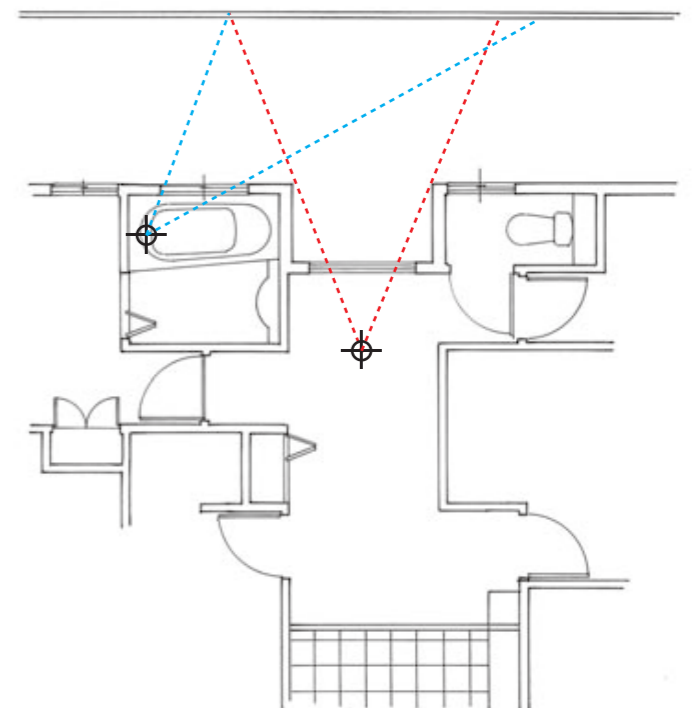
■ ポイント1 床のデザインよりまず背景を考える

坪庭のデザインというと、まず床のデザインや地被植物の種類などを考えたいと思いますが、まず考えなくてはならないのが背景です。今回は隣地境界に高さ1.2mの万年塀があるので、ホールに立って坪庭を見た時に最初に見えるのはこの万年塀です。和風であれば竹垣などが無難なところですが、今回は洋風とのご要望なのでスクリーン系のアイテムで隠すことを考えてみましょう。



■ ポイント2 室内から見える範囲をチェックする

次に平面的な検討に入ります。室内から見えないところまで計画するのは意味がないので、1階の間取り図上で坪庭を眺める位置を仮定し、見える範囲を作図で求めてみます。その範囲内で背景や床、植栽の計画に入ります。できれば、この範囲を35cm程度(基礎より少し低く)盛土して、室内との一体感を出すようにすると良いでしょう。



模範解答は次号で掲載、解説しますので、以上のことを踏まえて素敵なプランを考えてみてください。